

### 取組方針

株式会社ダイトクコーポレーションは、『私たちは、資源への感謝を忘れず、自らの幸せの中から還元し、恩返しをします』をモットーに、顧客ニーズにあった高品質で、環境に配慮したサービス提供を行います。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。

このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 省エネルギーを推進し、CO<sub>2</sub>排出量削減に努めます
- ② 廃棄物の削減、リサイクルに努めます
- ③ 危険物・化学物質の安全な取扱を実践します

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

令和3年8月25日

株式会社ダイトクコーポレーション

代表取締役 小島 久志

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

<p>目標一1</p>	<p>売上高当たりの二酸化炭素の排出量[kg-CO<sub>2</sub>/百万円]を、2020年 1118kg-CO<sub>2</sub>/百万円を基準として 2%1095kg-CO<sub>2</sub>/百万円に削減する。</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>(事務所での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 使用していない会議室などの照明の消灯</li> <li>② エアコンの設定温度を適正にする(冷房時 28℃、暖房時 20℃を目安)</li> <li>③ 空調機器の点検や整備を定期的に行う</li> <li>④ 車両の点検や整備を定期的に行う</li> <li>⑤ LED照明、人感センサー付きの照明の導入</li> </ul> <p>(工場での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 昼休みの機械類の電源OFFを徹底する</li> <li>② 工場内の機械について、点検や整備を定期的に行う</li> <li>③ 作業の効率化や不良の削減に向けて継続的な業務改善を行う</li> </ul>

<p>目標一2</p>	<p>売上高当たりの産業廃棄物排出量[トン/百万円]を、2020年 0.0043 t/百万円を基準として 2%0.0042 t/百万円に削減する。</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>(工場での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 工場内の機械について、点検や整備を定期的に行う</li> <li>② パレットの再利用</li> <li>③ 100%現像液レス化</li> <li>④ 不良の削減に向けて継続的な業務改善を行う</li> </ul>

目標-3	水の使用量の削減を心掛ける
具体的な取組	<p>(事務所・工場での取組)</p> <p>① 社内の手洗い場での節水</p> <p>② 毎月1回、漏水調査を実施する</p>
目標-4	従業員の環境への意識を向上させる
具体的な取組	<p>(事務所・工場での取組)</p> <p>① 危険物・化学物質を取り扱う際には、SDS(安全データシート)に基づいて管理し、その内容について、関連する従業員に周知する</p> <p>② グリーン製品やエコマーク商品に関する商品知識を身につけ、優先利用に努める</p> <p>③ 自社の石川県リサイクル認定製品のさらなる普及に努める</p> <p>④ 作業の効率化や不良の削減に向けて継続的な業務改善を行う</p>

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、常務取締役（環境管理責任者）が中心となって、全従業員が「具体的な取組」を実行します。